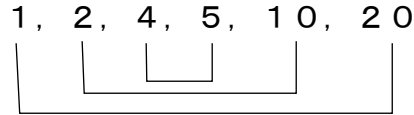


【補充問題②－3】

算数 約数	5年 組 名前
-------	---------

問一 次の文中の (あ) から (え) にあてはまる数や言葉をそれぞれ書きましょう。

- (1) 20をわりきれぬ数を20の (あ) といいます。(あ) を小さい整数から順番にならべると、次のようになります。

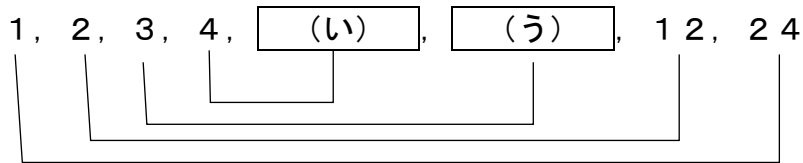


このとき、一番外側の1と20をかけると $1 \times 20 = 20$ となります。

次に、次の外側の2と10をかけると $2 \times 10 = 20$

さらに次の4と5をかけると $4 \times 5 = 20$ となります。

- (2) 24の約数を求めます。約数を求めるときは、(1)のように、積が24になるようにペアをつくると、すべての約数を見つけやすくなります。



- (3) 15の約数と18の約数に共通な数を、15と18の公約数といいます。また、公約数の中で一番 (え) 数を最大公約数といいます。

【答え】 (あ) (い)

(う) (え)

問二 次の問いに答えましょう。

- (1) 48の約数をすべて書きましょう。

【答え】

- (2) 31の約数をすべて書きましょう。

【答え】

(3) 12と36の公約数をすべて求めましょう。

【答え】

(4) 15と20の公約数をすべて求めましょう。

【答え】

(5) 14と45の公約数をすべて求めましょう。

【答え】

問 三

ノート12冊とえんぴつ16本を、どちらも同じ数ずつ、何人かの子どもたちにあまらなないように配る計画を立てています。あまりなく配るためには、何人の子どもたちに配ることができるでしょうか。すべて求めましょう。ただし、1人だけに配ることはしないこととします。

【答え】

人か 人だと、あまりなく配ることができる。